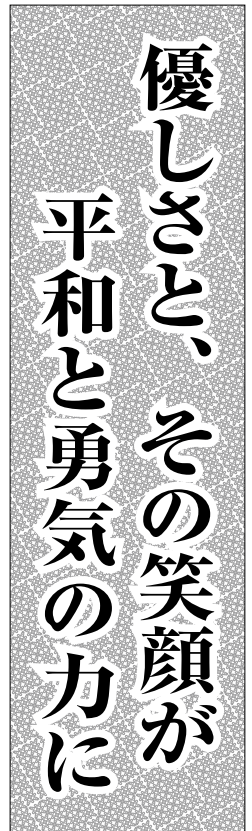
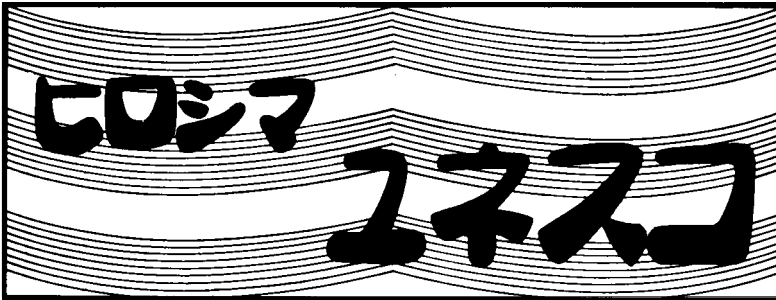


東日本大震災から一年

3. 11 -

追悼・復興・平和の鐘  
子ども支援で寄せ書きも

広島ユネスコ協会  
(4面に記事も)



新春フェスタ  
2012

国際理解、協力、交流などの活動を顕彰する広島ユネスコ活動奨励賞(主催・広島ユネスコ協会、後援・広島市教育委員会)の表彰式と新春コンサートを組み合わせた恒例の「ユネスコ新春フェスタ2012」は、十四回目を迎えて、一月二十一日、広島市文化交流会館で開かれました。

○第一部、奨励表彰式は、まず北川建次会長の挨拶で始まり、続いて選考委員長の広島大学中山修一名誉教授が講評。北川会長から賞状と記念のブロンズ楯が次の学校、団体に贈られました。学校部門は、四校。広島市立大林小学校は、ホタルの町の復活をめざしてホタルの幼虫から飼育、繁殖と

いう地道な活動に対して。広島市立仁保小学校は、牛乳パック回収運動を通して環境改善教育に取り組み、戦災国の児童を支援するなど国際協力活動に。広島市立牛田中学校は、フィリピン、ルソン島の自然環境保護活動に協力し、現地の森の再生のための植林支援などに対して。クラーク記念

国際高等学校広島キャンパスは、書道部の活動で「誰かの心の支えとなる書を！」をめざして国内外での幅広い活動に対して。社会部門は六団体。国際交流グループCANVASは、広島若い世代として国際交流、平和活動の活性化をめざしての積極的な取り組みに。広島ジュニアマリンバアンサンブルは、子供たちのマリンバ演奏を通して、国内外への活発な国際親善活動に対して。広島日タイ友好協会は、留学生、帰国留学生との交流、講演会、会話教室を展開するな



挨拶する北川会長



四校と六団体に活動奨励賞



広島ジュニアマリンバアンサンブルが演奏



どの国際平和教育への取り組みに。広島ベトナム協会は、留学生支援をはじめ教育、文化、ビジネスなどの国際交流、友好親善活動に。ひろしまおもちゃ病院は、おもちゃのお医者さんとして、「物を大切に」する心を

「育む」ことを目標に、物や人への思いやりの心を育てるための活動に。ヒョウモンモドキ保護の会、広島市支援隊は絶滅危惧に指定されたチョウの生息環境の保全、啓発などの指導役としての地道な活動に対して。

表彰に続いて各学校、団体の代表からそれぞれ活動内容の発表が行われました。○第二部は、新春コンサート。今年は奨励賞受賞の広島ジュニアマリンバアンサンブルが出演。モーツァルの

トの「アイネ クライネナハトムジク」で華やかに始まり、子供たちの奏でるマリンバの素晴らしい音色と響きに引き込まれました。白いつなぎにカラフルなTシャツの子供たちは、幼稚園児から高校生まで十八名。表情豊かで可愛らしく、マリンバの間を軽々と動き回っての、時に激しく、時にささやくような演奏が繰り広げられました。

トは終わりました。○会場を移してのパーティーは、子供たちのマリンバ演奏の余韻のなかで和やかに始まりました。木村進匡副会長の挨拶、佐藤 仁多山報恩会理事長の乾杯の音頭で会食。

**奨励賞受賞者一覽**

**広島市立大林小学校**

「ホタル・プロジェクト」のもと、環境教育と地域づくりに寄与

**広島市立仁保小学校**

牛乳パックをリサイクル。環境教育に努め国際協力

**広島市立牛田中学校**

フイリピン・ルソン島の植林活動支援。環境問題の啓発、国際協力に貢献

**クラーク記念国際高等学校**

**広島キャンパス**

「書」の発表活動を通じ

**国際交流グループCANVAS**

て命と平和の大切さを発信。カザフスタンの若者と連帯。共通の被曝体験に基づいて核廃絶と平和の活動を推進

**広島ジュニアマリンバアンサンブル**

国内外でマリンバ演奏活動。子どもの音楽教育を推進し国際交流に貢献

**広島日タイ友好協会**

タイ王国・社会福祉国民会議と交流。平和シンポの開催、恵まれない子女へ学資援助

**広島ベトナム協会**

ベトナムの留学生支援や児童・生徒里親運動を推進。日越の友好親善に貢献

**ひろしまおもちゃ病院**

おもちゃの「治療」をとおして子どもたちの物を大切にすることを育む。環境問題への関心を喚起し青少年の健全育成に寄与

**ヒョウモンモドキ保護の会**

絶滅危惧種ヒョウモンモドキの保護活動。生物多様性の保全・自然保護に配慮したまちづくりを推進

**広島市支援隊**

絶滅危惧種ヒョウモンモドキの保護活動。生物多様性の保全・自然保護に配慮したまちづくりを推進

クらしックからピエウラー、ラテン、ジャズ、中国や日本の歌など十七曲を休みなして演奏。初めから終わりまで子供たちのパワーに圧倒されっぱなし。会場は、笑顔と拍手にあふれ、時の経つのを忘れるほどに盛り上がりつつコンサート

こうしてユネスコ会員と受賞団体や関係者、参加者との和やかな交歓、交流の一日は過ぎ、年の初めにふさわしい思い出に残る「ユネスコ新春フェスタ」となりました。(文化部長 井尾義信)

# 子どもの本で「ヒロシマ」を伝える

## 広島市よい本をすすめる母の会との出会い

子どもとこともの本にかかわって、いつの間にか四十七年が過ぎました。長男が小学校に入学し、PTAで「ともはと号」のお手伝いをしたことから、こども図書館を拠点に活動している、「広島市よい本をすすめる母の会」のことを知りました。グループで参加すると、一カ月間五十冊の団体貸し出しを受けることができるというので、近所のお母さん達によびかけ、地域文庫を始めました。お母さん達が交代で、グループの子ども達の顔を思い浮かべながら本を選び、お話会や読書会を、又みんなでおやつを手作りしたりするなど、本を通して親子で楽しむ交流の場になったことを、懐かしく思い出します。

在住の方達が基金を集め、子どもの為の唯一の施設として創設されたものでした。そして当初の建築は、有名な丹下健三氏の設計に

## 「ヒロシマ」の本を世界におくる



ひろしまと世界を結ぶ 子ども文庫代表 柴田幸子さん

よる、総ガラス張り、きのこ型のユニークなもので、市公文書館には丹下氏手がきの設計図が、今も残されています。

## 母の会の活動から学んだこと

当時、よい本をすすめる母の会は設立三年目で、お母さんたちは手探りで、活

動を始めたばかりでした。PTAとは異なった母親の自発的な活動を、市の信井社会教育部長(前ユネスコ協会会長)や鈴木青少年センター館長、藤原子ども図書館館長から助言、ご協力いただけたことは、母の会にとって、とても幸いなこと

でした。

柴田幸子さん

講師を招いての講演会や研修会、グループでのお話会や読書会、又子ども達が好きなお話を発表する「子ども童話大会」の開催、親子文集「さわらび」の発行、そして子ども図書館と共催

の「夏休み読書相談」や、子どもの心を育てる「良書目録」づくり、などなど活

## 本のもつ力は人の心を動かし、平和な未来につながる

動が全市的に広がり、若い次の世代に引き継がれていき、多くのことをともに学ぶ機会となりました。奇しくも今年、母の会は五十年目を迎えます。

そして戦後、子どもの本が児童文学として話題になり、世界的にも様々な素晴らしい作品が、多くの作家達によって作り出されていきました。民話や古典はもちろん、ノンフィクションやファンタジー、ナンセンス、又幅広い科学から考古学、環境、平和人権その他、時代を反映した作品が出版されていきました。

そして良書目録の選定では、すてきな本と出会い、思いを共有する人々との語らいはほんとうに楽しいものでした。

一九九五年、北京で第四回世界女性会議が開催され、参加する機会に恵まれました。広島から「平和を発信したい」との思いから

核兵器の廃絶と平和の創造をテーマにワークショップを計画、資料として「ヒロシマの絵本」を用意し、世界の人々に紹介しました。その時「絵本」が民族や宗教、文化の壁を越えて、人々の心を動かすことに気づきました。帰国後、メンバーで、ひろしまと世界を結ぶ子ども文庫をたちあげ、ヒロシマを伝える絵本を世界に贈ることを始めました。

## 百四十七カ国へ

そして多くの人々に助けられ、百四十七カ国思いもかけぬ方々にも贈ることができました。河野前衆議院長、ペロシ前下院議長、クリントン国務長官から届いたというお礼状をいただいたのです。又国連軍縮フェロー・ザレスキー団長は、国連図書館の蔵書にしてくださったのでした。

人間が作りだした最大の文化、本のもつ力が人々の心を動かし、平和な未来につながることを信じ、世界のどこかでずっと読み続けられることを願っています。

# 「3・11の鐘」 平和公園で

広島ユネスコ協会は、日本ユネスコ協会連盟の呼びかけで、国内の地域ユネスコ協会と共に、東日本大震災一周年の三月十一日、地震発生時刻午後二時四十六分に、追悼と震災復興、被

災の子どもたちへの励まし  
の思いを込め、鐘を鳴らしました。

集会は平和記念公園北側の平和の鐘の前で。木村副会長の挨拶、全員による黙祷の後、打鐘。子ども支援のための市民参加の寄せ書きも行いました。

## リーフレットを リニューアル

昨年五月の総会で組織部会長を末重先生の後を受けました。最初の活動がリーフレットのリニューアル。国際部会長の藤井正一先生



にお力添えいただいた原稿（案）をベースに三回の組織部会の検討会議を重ね、役員の皆様からのご意見も踏まえて、八月末に完成。カラー写真入りの見栄えのよい？リーフレット三千部が十二年ぶりにリニューアルしました。

会員ご自身からの勧誘やユネスコサロン・各種行事等の際にご案内するなどして、会員拡大の有効なツールとして積極的に活用していきましよう。皆様のご協力をよろしくお願います！

（組織部会長

松岡盛人

## 県内二十二校が加盟

広島県内小学校、中学校、高等学校が加盟する県ユネスコスクール連絡協議会が昨年三月に設立され、以来この一年、ESDⅡ持続発展教育・ユネスコスクールの取り組みが進みました。広島市でも昨年八月、広島ユネスコ会員多数が出席して研修会が開催されました。

現在、広島県は小・中・高校合わせて二十

## ESD・ユネスコスクール

この一年の動き

県連協

亀井章

◇同十一月十二日

援などを行っています。県内の宮島、東広島、因島などの地域ユネスコ地区の学校に加盟を働きかけています。

この一年の動きは次のとおり。「」内容、○主催▽共催・後援、◇会場

◇十一年三月二十六日「県ユネスコスクール連絡協議会立総会ESD研修会／発表『福山市駅家西小、山陽女学園中等部、白木高校』」

日ユ協連、ほか▽広島市教育委、県ユ連、広島ユ協、アステールプラザ

◇同 十一年十二月三日「ESD研修会／講演『持続可能な地域社会づくり』講師・木曾功ユネスコ大使／実践発表『福山市駅家西小、尾道北高校』」○県ユ

ネスコスクール連絡協、日本持続発展教育推進フォーラム▽県教委、県ユ連、県立歴史博物館

二校が加盟、安芸郡矢野町の小・中学校全校が加盟申請準備中で広島ユ協は申請書英訳で協力することになっていきます。また、広島大学がユネスコスクール支援大学間ネットワークに加盟し、矢野町の学校の申請作業の支

## 中国ブロックユネスコ活動研究会（島根県）

（出雲市）

### 亀井県連会長が

### ブロック会長に再任

二月四日から二日間、二〇一一年度中国ブロックユネスコ活動研究会が地元協会などの主催で出雲市にお

いて開かれ、七十人が参加。広島からは亀井章、井尾義信、山本隆信、藤井孝行、大福知彦、古田碩永の六人。日ユ協の財務・事業、各協会の活動の活性化のためこのれからの方向性を探る

ことをテーマに、基調講演、協議、事例発表、各県報告が行われ、活発な意見の交換があった。今回は十一月に宇部市と決定。当ブロック協会会長に亀井章広島県ユ連会長が再任。

（副会長

古田碩永

### 【青少年センター共催事業】 平和で持続可能な社会の実現に向けて…

## 「高校生国際理解セミナー」を開催

高校生国際理解セミナーを、去る十二月二十三日（祝）に青少年センターで開催しました。午前中は、当協会の副会長である中山修一氏（広島大学名誉教授）による基調講演「平和で持続可能な社会づくりを目指すユネスコ」と題して、ユネスコ活動やその取り組み



などについてわかりやすく説明を受け、その後、山陽学園高等学校から今、留学で来ているカザフスタン、フィリピン、フィンランドの三名による日本での印象や生活文化の違いなどの発表や日本から留学した二人の体験発表もありました。そして、広島大学附属高校



高校生の報告会①と寺子屋街頭募金

はユネスコ班の取り組みとしてドイツハノーバーとの交流の様子をパワーポイントを使って発表されました。参加者はユネスコ会員を含む五十二名、その内高校生が二十七名（九校）で四班に分かれて意見交換を行いました。

昼食をはさんで、午後からは、紙屋町メルパルク前で、「恵まれない人たちに教育を！」と通りかかった市民に声かけを行い、世界寺子屋運動の募金活動を行いました。四万一千六百四十六円の浄財が集まり、日本ユネスコ協会連盟へ届けました。

今回のセミナーが、国際理解や交流のきっかけとなって、今後一層交流の輪が広がっていくことを期待しています。

（青少年育成部会長 國田 繁）

### 『新年度総会』

広島ユネスコ協会の平成二十四年度総会が、五月二十六日（土）に行われる予定です。

### 二十三年度新規会員

#### 《一般会員》

- 梅本 昌子 車地かほり
  - 田川 清 畑口 實
  - 本原 浩美 山下 洋子
  - 湯浅 清治 横風 智恵
  - 和田 文雄 渡辺真由美
- 《団体会員》  
NPO法人ゲンキ広島21

### 支援募金に感謝

広島ユネスコ協会が中心となって行った（二〇一〇年十二月～二〇一二年二月の期間）支援・義援募金は次の通りです。皆様のご協力ありがとうございました。

○書き損じはがきキャンペーン  
六百七枚（切手交換）

○街頭募金（コアクシヨーン・高校生国際理解セミナー参加生徒）二〇一〇/十二月、二〇一一/十一月

○東日本大震災義援募金  
二〇一一/三月ユネスコサロン、「橋本勇夫ギター&オルゴールコンサート」

（平和・世界遺産部会長 柴田幸子）

○東日本大震災子ども支援募金  
二〇一一/五月ユネスコサロン、七月ユネスコサロン、二〇一二/一月ユネスコ新春フェスタ合計金額は215,775円です。

（理事 山本隆信）

### 深崎敏之先生を偲ぶ

（広島ユネスコ協会顧問）

広島ユネスコ協会の深崎敏之先生が本年一月一日ご逝去されましたことは、大変な驚きであり悲しみでした。企画された「国際交流サロン」（現在はユネスコサロンに改称）は、元大使、文化人を迎えて活気ある事業でした。青少年活動では、多山報恩会の協力もいただき、深崎先生が中心で高校生を五大陸に海外派遣する平和推進事業は五年間実施し、国際理解を深め、「ヒロシマの心」を伝えることができました。

深崎先生が、本協会発会当時からユネスコ活動に積極的に参加、貢献された数多くの功績が偲ばれます。北川会長をはじめ会員一同、ご冥福を心から祈念しております。

（国際部会長 藤井正一）

## 杉並ユネスコ青年部が広島研修へ

杉並ユネスコ協会青年部が、広島研修旅行で、三月二十六日（月）から二十八日（水）の予定で、広島平

和記念資料館（原爆資料館）の訪問や慰霊碑めぐり、広島ユネスコ協会・北川会長の被爆体験講話、世界遺

産・宮島の見学を行います。同協会の来広は今回で十三回目。広島ユネスコ協会は受け入れの世話役として、研修と交流行事のお手伝いをさせていただきます。

（平和・世界遺産部会長 柴田幸子）

ユネスコサロン(出前講座)

春を告げるコンサート

とき 三月二十四日(土)

午後二時―三時三十分

場所 広島市宇品公民館

出演

ヴィオラ 沖田孝司さん

ピアノ 沖田千春さん

曲目 アメージング・グ  
レイス

七つの子  
春よ来い  
涙そうそう

愛の挨拶

Love Youほか

入場は無料 定員五十名

〈お問い合わせ先〉

宇品公民館

広島市南区宇品御幸

四丁目一―二

TEL&FAX  
〇八二二五三二二五二九

国連合唱団が来広へ

国連合唱団による「広

島・長崎・沖縄 平和と慰

霊のコンサート」が、五月

二十日(日)午後五時開演

で、広島市文化交流会館

ホールで開かれます。歌手

の加藤登紀子さんも参加。

開催に当たり広ユ協会は、

協力団体の一員として、実

行委員を派遣し成功を期し

ます。

日誌

2・6・13日/ユネスコ活動

奨励賞表彰文・紹介文検討

会議(市民交流プラザ)

3日/ESD研修会(主催・

広島県ユネスコスクール連

絡協議会/県立歴史博物館)

23日/高校生国際理解セミ

ナー(広島市青少年セン

ター)

23日/高校生コアクション

「世界寺子屋運動支援募金

活動」(広島そごう横歩道)

〈1月〉

12日/ユネスコ活動奨励賞表

彰状揮毫 担当者足立理事

21日/新春フェスタ2012

開催・ユネスコ活動奨励賞

受賞式・新春コンサート(出

演広島ジュニアマリンバア

ンサンブル)・記念コンサ

ト・子ども支援募金

(広島市文化交流会館)

25日/広報部会・機関紙第80

号プラン会議

(市民交流プラザ)

〈2月〉

4・5日/中国ブロック・ユ

ネスコ活動研究会古田副会

長ほか (鳥根県出雲市)

5日/中国ブロックユネスコ

連絡協議会会長に亀井章広

鳥県ユネスコ連絡協議会会

長が再任

13日/正副会長・部会長会議

(職町集会所)

〈3月〉

11日/3・11追悼・復興・平

和の鐘を鳴らそう! 午後

二時三十分から(広島平和記

念公園内北側 平和の鐘前)

12日/機関紙第80号発行



元広島平和記念資料館館長 畑口 實氏

昭和二十年八月六日:

この日は私にとって、

被爆、父の死という忘

れることはできない日

ですが、原爆というト

ラウマから逃れるた

め、生まれて半世紀は

忘れるように努力して

きました。

しかし五十歳を過ぎ、

原爆ドームが世界文化

遺産に登録されてすぐ  
広島平和記念資料館勤  
務というまた思い出さ  
ざるを得ない状況にな  
った時は、毎日が苦痛  
の連続で、早く異動を  
願っていた一心でした。  
でもその時は、宮島  
口の自宅から職場まで、  
二つの異なった世界的  
な世界文化遺産を毎日  
見て通勤しており、誠  
に贅沢な限りでした。  
それをきっかけにユ  
ネスコの世界遺産を見  
たり調べたりするのが  
好きになり、地図とか  
写真を見て楽しんでい  
ます。入会後は、あま  
り気張らずに参加しよ  
うと思っています。よ  
ろしくお願いします。

広島ユネスコ協会のひと顔

国際部理事

中谷美保子さん



叔父 松原博臣が会

長の時、女性会員を増

やし活性化したい旨の

依頼があり、友人数名

と入会し、在籍二十年

になります。

その間、一番印象に

残っている事は、

一九九三年五月、パリ

日本文化祭がパリのユ

ネスコ本部で開催さ

れ、加藤朗一先生を団

長に十数名で出席した  
ことです。初めての  
ヨーロッパ旅行で主人  
も同伴いたしました。  
前年八月、サロンに  
「原爆の子」主演女優  
乙羽信子さんを迎え  
て、中国放送井尾義信  
アナウンサーとの対談  
も思い出されます。  
二〇〇〇年、長年念  
願だったフランスの聖  
地ルルドへ巡礼に出か  
け、その後の十年間は、  
両親の介護、娘達の結  
婚、出産と超多忙な  
日々で、医師であった  
私の父を百歳歳で見送  
り、最近やっと普通の  
暮らしを取り戻してい  
るところです。